

ハロソース インク

MSDS番号: APPC0106

日付: 2/2/2011

旧版: 9/30/2005

製品安全データシート

1. 化学製品と会社内容

製品名: アクアピル 2
別称・類似物: なし
化学品群: カチオニック ポリアミン
分子式: 混合
分子量: 混合

ハロソース インク 住所: 米国 98021 ワシントン州 ボーゼル
スイート100, 220番通り1631

製品情報問い合わせ先: 電話番号 1-425-881-6464

日本での問い合わせ先: エタニ産業(株) 電話番号 03-5701-7272

2. 構成成分の組成/情報

OSHA(Occupational Safety and Health Administration-米国労働安全衛生局)の規制構成成分

OSHAならびにACGIH(米国の政府系工業系衛生学者協会)による摂取許容限度は設定されていない

3. 危険性証明

緊急概観

外観と臭い

色:	無色もしくは琥珀色
外観	液体
臭い	アミン臭

危険性の説明

重要! この商品がこぼれると大変滑りやすい

可能性のある健康への影響

摂取の影響

ねずみへの経口投与LD50とウサギ皮膚への塗布LD50数値はそれぞれ5,360mg/kg と16,000mg/kgである。ウサギに対する初期搔痒実験で皮膚や目への搔痒はなかった

4. 初期救護方法

摂取したとき

摂取により害のある物質はないと判断される。特別な救護方法は要求されていない

肌に付着したとき

すぐに大量の水と石鹸で洗う

目に入ったとき

最低15分間大量の水で洗う

吸入したとき

吸入により害のある物質ではないと判断される。新鮮な空気に変換

5. 火事の場合の扱い

消火媒体

散水、カーボンダイオキサイドまたは化学消化剤の使用

防護設備

消防夫その他危険にさらされる人、持ち運び呼吸機器の使用

特別災害

火炎にさらされた場合は水をかけて格納器を冷やし続ける事

6. 事故的撤去方法

人的警戒法

人的防御機器については第8項（摂取抑制/人的防御）を参照

掃除方法

製品は滑倒の原因となろう こぼれた物質は不活性物質で吸収して掬い取るべきである
飛散した場所は水で洗い、残渣を取り除く事 ぬめりが残った場合は乾燥掃除物質をさらに使う事

7. 取り扱いと貯蔵

取り扱い

予防的方法：こぼした場合は直ちに掬い取り、ふきあげる事、ならびにこぼれた場所は水で洗うこと

特別取り扱い条項：なし

貯蔵：製品の劣化と装置の腐食を避ける為、鉄、銅、アルミの格納庫や装置を使わない事

貯蔵温度：室温

理由：完全無傷

8. 摂取抑制/人的防御

技術的方法

商品が衛生的に扱われているなら技術的コントロールは不要

吸引の防御

不要

目の防御

目と顔の防護面をつけること

肌の防御

適切な防御的衣服を着ること

追加的アドバイス

食べたり、飲んだり、タバコを吸う前に、顔や手を石鹸と水でよく洗うこと

9. 物質的、化学的特性

色	無色から琥珀色
外観	液体
臭い	アミン臭
沸騰点	適用外
溶解点	適用外
蒸気圧	適用外
比重	1.14—1.18
蒸気比重	適用外
揮発性(重量%)	50
P H	5.0—7.0
空气中飽和(容量%)	適用外
気化率	適用外
水への溶解度	完全溶解
有機成分の揮発性	適用外
引火点	93度C、200度F 密閉カップ
可燃性限界	適用外
自然発火温度	適用外
分解温度	適用外
係数分割	適用外
臭気発生点	適用外

10. 安定性と反応性

安定性	安定
忌避条件	なし
重合	起こらない
忌避条件	なし
忌避物質	貯蔵システムの供給材料としてのアルミ、銅または鉄 強い酸化剤、酸
危険性のある分解物質	カーボンモノオキシサイド カーボンダイオキシサイド アンモニア 窒素酸化物 水素塩化物

1 1. 毒素学的情報

製品の毒素学的情報は第3項の危険性証明に記載
毒素学上本商品の規定された成分は以下である

この商品はOSHAが（危険性があると）規定した成分は含んでいない

12. 自然環境的情報

水系生物に危険物質は水中環境に長期的に有害な効果を起すかもしれない
適切な使用法と廃棄法を用いれば本製品は有害環境効果はないと判断される
提供されるすべての自然環境的情報は厳密に同様の製品に遂行される
先端毒性試験は環境的に代表的な水分を使用して遂行され、その結果は以下である
藻試験結果

試験：成長抑制（OECD201）
試験期間：72時間
種別：緑藻(*Selenastrum capricornutum*)

魚試験結果

試験：先端的毒性、新鮮な水（OECD203）
種別：ゼブラフィッシュ(*Brachydanio rerio*)

無脊椎動物試験結果

試験：先端的運動(OECD 202)
種別：水ノミ(*Daphnia magna*)

品質低下

試験：CO₂発生：修正的Strum(OECD 301B),
IC₅₀
>10 - 100 mg/l
期間：48時間
LC₅₀
期間：28日、方法：即時的生物分解性
<70 %
>10 - 100 mg/l
>10 - 100 mg/l
期間：96時間
EC₅₀

13. 廃棄上の注意

以下に述べられるRCRA廃棄物分類ならびに廃棄方法論の情報はハロソース社の商品にのみ
適用されるものである
もし物質が変更されたり使用期限を越えた場合はこの指導は無効となろう
アメリカ連邦規則(40 CFR Part 261 etseq)における危険物質廃棄分類は、物質がRCRAの
「危険物質表」に乗っているかまたは4種のRCRAの「危険物質の特徴」のどれかに該当するかどう

かによるものである

廃棄するために与えられた物質がRCRA危険廃棄物表の物質であるかどうか決定するには40CFRのパート261.33を参照のこと、情報は本MSDSの第15項を含みますがこのMSDSは製品が危険廃棄物リスト、RCRA危険廃棄物分類にあるかどうかの表示を意図していない

40CFR261.21項から24項には4項目があり、発火性、腐食性、反応性と毒性である

発火性を検証するためにはMSDSの9項(引火点)を参照願

腐食性の為には、9項と14項(PHとDOT腐食性)を参照

反応性の為には、10項(配合禁忌物質)を参照

毒性の為には2項(構成成分)を参照

連邦規則は変更ありうべし

連邦規則と違っていたり、さらに厳しく規制する州ならびに地域の要求は、その物質が廃棄されるということなら、物質の分類の中で適用される

ハロソースは許されるかぎりにおいて、ごみとして廃棄する代替手段として、物質のリサイクルリカバリーとリユースを奨励しています

ハロソースは、RCRA危険廃棄物として分類された有機物質はEPAが承認した施設にて、熱処理または焼却処分廃棄することをお勧めします

ハロソースは前述の事項を情報までとして提供いたします

廃棄を担当する方が廃棄物分類や廃棄方法について責任をお持ち下さい

14. 輸送情報

この項は基本的な船積み分類情報である

詳細な要求については適切な輸送規則を参照されたい

米国DOT 適切な船積み名：適用外、規定なし
危険物質：適用外

トランスポートカナダ
適切な船積み名：適用外、規定なし
梱包指示書/梱包あたりの最大Net: 梱包あたりのnet数量
旅客航空機：
貨物航空機

ICAO/IATA 適切な船積み名：適用外、規定なし
梱包指示/一梱包あたりの最大Net：梱包あたりのnet数量

IMO 適切な船積み名：適用外、規定なし

15. 規制情報

目録情報

米国：毒物規正法15USC2601et. seqに従い、この商品のすべての構成成分はTSCA目録に含まれている

カナダ：この商品の成分はカナダ環境省に報告されており、これはカナダ環境保護法(1991)の16項と81項にしたがっている、ならびに国内薬物リストに含まれている

日本：この商品のすべての構成成分は日本(ENCS)目録に含まれているか、日本目録に掲げることが要求されていないものである

韓国：この商品のすべての構成成分は韓国(ECL)目録に含まれているか、韓国目録に掲げることが要求されていないものである

その他の環境情報

この商品の構成成分はE R C L A (40CFR372) の3 1 3項、T S C Aの1 2項 (b) に従った報告要求により、もしくは放出報告要求(40 CFR 307, 40 CFR 311, 他) によるものである。

この商品の廃棄分類と廃棄法における情報は第1 3項を参照の事。

この商品はE P Aの関連項目における規制成分を含んでいない

SARAの311項における製品危険性分類
適用外

1 6. その他の情報

NFPA 危険区分 (国家防火協会)

健康：0 ランク 危機的の状況における本物質は通常可燃物のレベルを超えるほどの危険性はない

火事：1 ランク 物質は予熱しないと発火しない

反応性：0 ランク 物質はそれ自体は通常、火災状況においても安定

発行の理由：第3項の変更

この情報は保障とか代表という意味では提供しておりません

我々は同様に法的責任についてという意味では提供していません、ましてや許可を与えたり、誘導勧誘したり、推奨したり、特許やライセンスのない発明のためでもありません

これは単に貴社での検討、調査、確認の為に提供いたします

各商品をご使用になる前にそのラベルをお読み下さい
